

PROLOGUE

木二中 学校だより No.21 令和6年10月9日
校長 山元 竜二

木更津市立木更津第二中学校
〒292-0801 千葉県木更津市請西941番地
☎0438(36)2280 FAX0438(36)2233
E-mail:kisarazu2-j@kisarazu.ed.jp
<https://www.fureai-cloud.jp/kisa-kisarazu2-j>



人に見下されてバカにされるほど成長し、人を見下してバカにする人ほど落ちていく

人として未完成である中学生が500人以上も集まれば、人間関係に関わるトラブルがないなんていうことは不自然だし、絶対にあり得ないこと。悲しいかな、大人の世界にだって普通に、ごく普通にあるわけだから、むしろトラブルがあって当たり前だと思います。では、大人と中学生では何が違うのか、というと、トラブルが起こる前と起こった時の対処やその後の対応の仕方にあります。

大人になると、人は誰でも原則としてトラブルを回避するようになります。物事に対する考え方や価値観は人それぞれ異なるということをしっかりと認知しているので、あからさまに考え方が違う人とトラブルを起こすことはありません。それでもトラブルになった時には、原因はどこにあるのか、自らに非があれば謝罪し、謝罪された側はそれを受け入れ、同じようなトラブルが起きないようにお互いが言動や行動を改めるのです。もちろん、そうではない大人も存在していることは否めませんが…。

人としてまだまだ未完成である中学生はどうだろう？多くの場合、人として未完成であるが故に大人の力を借りてトラブルを解決していくことになりませんが、どうにも解決してははずなのにその後も言った、言っていない、やった、やってないの応酬なんていうことはよくあること。子どものケンカあるあるだと思います。山元家にも中学1年の長男と小学校3年の長女がいますが、仲良く遊んでいたかと思えば「え、このタイミングで!？」と兄妹ケンカが始まるのは日常茶飯事。始まってしまったら年齢差なんか関係ない。多くの場合、「おい、いい加減にしろ!」と叱られるのはお兄ちゃんの方ですが…。

兄弟姉妹ならまだいいでしょう。同じ空間で家族という変わりようのない関係性の中で生活しているわけだからいつの間にかまた仲良く遊び出すようになるもの。その繰り返しです。これが考え方や価値観の異なる他人となると、大分様子が異なってきます。一度のトラブルが後をひいて関係性の悪い状態が長く続くことになったり、今の時代ではSNSを通じて誹謗中傷の応酬になったりと解決どころか、トラブルという火の中に悪口、誹謗中傷、いじめといった油を注ぐことになる…。

人としてまだまだ未完成である中学生の皆さんに、これだけは言っておきたいと思います。面と向かって伝えることができない悪口、誹謗中傷は、当事者ではない第三者に伝えたり、SNS等で発信したりしない方がいい。なぜなら、人を見下す言葉や、人を陥(おとしめ)れようとする悪意はどれだけ相手にわからないようにと秘密裏にしたとしても(相手にバレないように言ったり、行為に及んだり)、99.9999%の確率で相手に伝わるからです。SNS等はそもそも匿名性は0(ゼロ)に等しい(PROLOGUE No. 11に記したとおり)。第三者に悪口や誹謗中傷を発したとしても「人の口に戸は立てられぬ」(=いったん広まってしまった噂はどうにか止めようとしても広がってしまうという例え)と古くから言われているように、「誰にも言わないでね」は世の中通用しない。ましてや、自分が良かれと悪口や誹謗中傷を伝えた第三者が、自分が知らないところでどんな人となりがあがるのか、まではわからないもの。自分の口から発した言葉(行為も)がまわりまわって相手に届いてしまうなんていうことは容易に想像できると思います。99.9999%、相手に届いてしまうんです。

そして、自分が人を見下し、陥れようとした言葉や行為は、必ず自分自身に還(かえ)ってきます。自身の言葉や行為を省みず、人を見下し、バカにするような人は、冒頭の厳しい言葉のように落ちていく。気がついたら自分の周りには人がいなくなる。一人、また一人と離れていくことにすら気づけないかもしれません。

今朝のニュースで、SNS等で発信する乱暴な言葉を柔らかく優しい表現に変換するソフトが開発されつつあると聞きました。どうなのでしょう？言葉遣いをAIに頼まないと人間関係すら築くことができなくなってしまうのか？と恐怖すら覚えるのは私だけでしょうか？いいのかなあ…、これで。きっとAIだって困ってしまうのではないのでしょうか…。